

平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月9日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL http://www.mac-house.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役統括管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	23,071	△8.9	175	△49.8	221	△47.1	△79	—
29年2月期第3四半期	25,316	△4.9	349	△50.5	417	△47.1	57	△66.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	△5.21	—
29年2月期第3四半期	3.75	3.74

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	23,289	13,689	58.6
29年2月期	23,767	14,391	60.4

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 13,645百万円 29年2月期 14,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年2月期	—	20.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,600	△6.3	620	0.6	660	△3.1	150	12.5	9.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年2月期3Q	15,597,638株	29年2月期	15,597,638株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年2月期3Q	260,793株	29年2月期	260,685株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年2月期3Q	15,336,918株	29年2月期3Q	15,336,967株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考資料	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期累計期間(平成29年3月1日～平成29年11月30日)における我が国の経済は、企業収益の改善傾向、雇用・所得環境の改善傾向により、緩やかな回復基調が続く一方で、海外経済の不確実性など、先行き不透明な状況で推移しました。

競争激化が進む、中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、消費者の生活防衛意識は依然として高く、衣料品の実質消費支出は減少しており、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況におきまして、当社は、「お客様の暮らしに役立つお店」をスローガンにジーンズカジュアルショップからジーンズを中心としたファミリーカジュアルショップへの脱皮を図ってまいりました。前期に掲げた再成長を図るための基本施策である「接客文化の浸透による営業力の強化」、「新規顧客の継続的増加」、「暮らしに必要な実需商品の拡大」、「調達改革による低価格・高粗利の実現」、「独自のデザイン及びコンテンツの追求」、「店舗の大型化による1店当たり売上の増加」の6つの行動指針に基づき、各施策に引き続き取り組みました。

売上高におきましては、SC(ショッピングセンター)や駅ビルを中心に新たに新店または移転をした大型店舗が順調に売上を伸ばす一方で、店舗数で約4割を占める老朽化した路面店が低調に推移しました。新設した大型店舗には、女性の集客策としてのアクセサリや日用雑貨などを展開するコーナーを新設し、よりお買い物を楽しめる売場を構築しました。商品面では、天候不順の影響等を受けてメンズアパレル及びレディースアパレルが前年売上を割り込みましたが、実需商品であるインナーレグウェア、ホームウェアが好調に推移しました。また、当社独自の新キャラクターである「パーカー猫」、「WIMP GHOST」、「MIX UP WORLD」、「高円寺3丁目食堂」などをカットソーのデザインに採用して他社との差別化を図りました。販促面では、モバイル会員獲得を強化して、メルマガによる情報配信や会員限定企画実施により顧客の囲い込みを図りました。しかしながら、カジュアル衣料品大手の値下げ政策の影響をはね返すに至らず、当第3四半期累計期間における既存店売上高は前年同四半期比5.4%減、既存店客単価は前年同四半期比0.7%減、既存店客数は前年同期比4.7%減となりました。

出退店につきましては、9店舗を新規出店した一方、29店舗を閉鎖し、当第3四半期累計期間末の店舗数は413店舗(前年同期比31店舗減)となりました。このうち、新しい業態の「マックハウス スーパーストア」及び「マックハウス スーパーストアフューチャー」の店舗数は、50店舗となりました。引き続き、広くて清潔感のある売場への移転及び出店を積極的に進めております。

利益面につきましては、商品調達改革が進んだことにより値入率が改善し、売上総利益率は前年同期比3.9ポイント上昇しました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は23,071百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。また、営業利益は175百万円(前年同四半期比49.8%減)、経常利益は221百万円(前年同四半期比47.1%減)、四半期純損失は79百万円(前年同四半期は四半期純利益57百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ477百万円減少し、23,289百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ741百万円減少し、16,397百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,652百万円減少した一方で、売掛金が734百万円、商品が298百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ263百万円増加し、6,891百万円となりました。これは主にリース資産(純額)が274百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ225百万円増加し、9,600百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ88百万円減少し、6,890百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,269百万円減少した一方で、電子記録債務が1,133百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ313百万円増加し、2,710百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ702百万円減少し、13,689百万円となりました。

これは主に、剰余金の配当613百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は58.6%となり前事業年度末に比べ1.8ポイント減となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月10日付、「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,729	4,077
売掛金	407	1,142
商品	10,360	10,658
前払費用	297	284
繰延税金資産	135	106
その他	208	128
流動資産合計	17,138	16,397
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	108	99
建物附属設備(純額)	1,257	1,461
構築物(純額)	22	19
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	184	216
リース資産(純額)	9	284
土地	194	194
その他	24	1
有形固定資産合計	1,800	2,277
無形固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	144	148
敷金及び保証金	3,891	3,731
繰延税金資産	550	533
その他	59	24
貸倒引当金	△11	△4
投資その他の資産合計	4,634	4,433
固定資産合計	6,628	6,891
資産合計	23,767	23,289

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,968	3,698
電子記録債務	—	1,133
ファクタリング債務	376	308
未払金	309	327
未払法人税等	186	2
未払費用	679	1,058
賞与引当金	76	20
ポイント引当金	61	67
店舗閉鎖損失引当金	37	29
資産除去債務	32	23
その他	250	221
流動負債合計	6,978	6,890
固定負債		
退職給付引当金	1,435	1,505
転貸損失引当金	131	119
長期預り保証金	187	184
資産除去債務	605	659
その他	36	242
固定負債合計	2,397	2,710
負債合計	9,375	9,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	7,573	6,879
自己株式	△153	△153
株主資本合計	14,337	13,643
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	21	2
評価・換算差額等合計	21	2
新株予約権	33	43
純資産合計	14,391	13,689
負債純資産合計	23,767	23,289

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	25,316	23,071
売上原価	13,060	10,998
売上総利益	12,255	12,072
販売費及び一般管理費	11,906	11,897
営業利益	349	175
営業外収益		
受取利息	7	5
受取家賃	222	245
その他	45	35
営業外収益合計	275	286
営業外費用		
支払利息	0	1
不動産賃貸費用	202	208
その他	3	31
営業外費用合計	206	240
経常利益	417	221
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別損失		
固定資産除却損	48	16
店舗閉鎖損失	1	6
減損損失	122	100
店舗閉鎖損失引当金繰入額	19	—
特別損失合計	192	123
税引前四半期純利益	225	100
法人税、住民税及び事業税	142	125
法人税等還付税額	△105	—
法人税等調整額	131	54
法人税等合計	167	180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57	△79

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別、決算開示名称	期別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	前年同四半期比	増減
		自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日		
メンズトップス		6,690百万円	5,898百万円	88.2%	△792百万円
メンズボトムス		5,094百万円	4,602百万円	90.3%	△491百万円
レディーストップス		2,991百万円	2,707百万円	90.5%	△284百万円
レディースボトムス		3,061百万円	2,752百万円	89.9%	△308百万円
キッズ		2,716百万円	2,747百万円	101.1%	31百万円
その他		4,762百万円	4,363百万円	91.6%	△398百万円
合計		25,316百万円	23,071百万円	91.1%	△2,244百万円

(注) 「その他」はビジカジ、インナー・レグ、雑貨等であります。